

国際女子相撲選抜大会開催時の感染防止対策

1 会場責任者の選任

複数名を選任する。
大会開催時に定期的に巡回を行う。
指導に従わない時には、退場を求めることができる。

2 健康観察

前2週間の健康チェック表を受付時に提出する。

3 マスクの着用

取り組み時以外はマスクを着用する。
息苦しくなった場合は外してもよいが、人との十分な距離を確認して外す。

4 当日体温チェック

正面玄関で行い、37.0℃以上の者は入場を制限する。

5 受付

マスク着用確認
健康チェックシートの回収、確認
並ぶ間隔を確保
手指アルコール消毒

6 入場できる者

- ①役員、審判員
- ②出場選手(選手の家族等の観戦については、1名につき2人程度とする。事前に届け出て許可を得ること)
- ③監督やコーチ等、選手の指導者
- ④補助員
- ⑤報道
- ⑥事前に届け出があって、許可を得た者(選手の家族等)

7 会場の密集防止策

- ①更衣室の使用や計量は時間差をつけて行う。
- ②×印のついた座席には着席しない。
- ③シャワー室では、シャワーの使用は禁止とし、足を洗うことのみ使用可とする。

8 声出しの禁止

声を出しての応援は禁止とする。

9 試合前後の行動

- ①タオル、うがい用の水(ペットボトル等を準備)は、自分専用のものを使用する。
- ②取組前後には、自分の手指、顔面、足等の消毒に適した、消毒薬やアルコールティッシュなどで体表面を清拭し、清潔を保つ。

10 消毒用品の常備

必要な除菌用品は、主催者で用意するが、各自でも常備する。
マスクを収納する袋等を用意する。

11 ごみの処理

本人が持ち帰る。

12 審判員

審判長、副審は、マスクを着用し、主審は、マウスシールドを使用する。
協議は、マスク着用のまま行い、通常以上の間隔をあける。

13 式典

開会式、閉会式は行わない。表彰式のみ行う。

14 その他

- ①一般観客の入場は禁止とする。
- ②ビデオ・写真の撮影は許可のないものは禁止とする。
- ③その他(公財)日本相撲連盟「相撲における競技会再開ガイドライン」に基づき実施する。